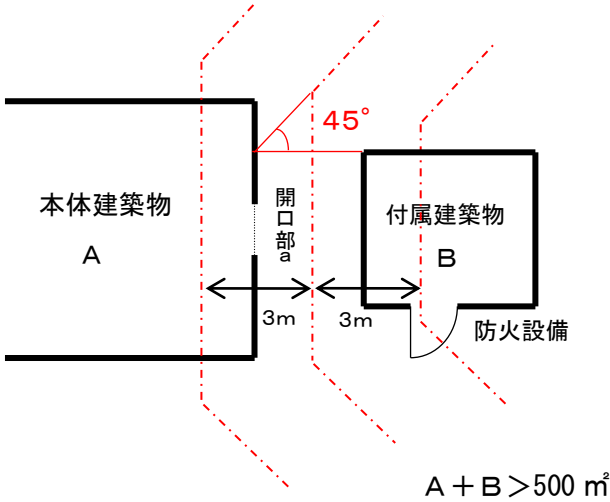


用語の定義	該当 条文	法第2条
平屋の付属物置等と延焼のおそれのある部分の取扱い		
<p>□ 内 容</p> <p>下図のような主要構造部を不燃材料で造られ、開口部に防火設備を設けた平屋の付属物置について、法第2条第6号のただし書きの適用はできるか。</p>  <p style="text-align: center;">$A + B > 500 \text{ m}^2$</p>		
<p>□ 取 扱</p> <p>付属建築物のうち自転車置場・平屋建の小規模な物置・受水槽上屋・屎尿浄化槽及び合併浄化槽の上屋・ポンプ室等で主要構造部が不燃材料で造られたもの、その他火災の発生のおそれが著しく少ないものについては、法第2条第6号ただし書きの「その他これらに類するもの」として取扱い。よって上図の場合、本体建築物Aの開口部 a は延焼のおそれのある部分ではなく、防火設備は不要である。</p> <p>なお、自転車置場については防火設備がなくても可とする。</p>		
□関連資料 防火避難規定の解説		